

経営比較分析表（平成29年度決算）

山梨県北杜市 塩川病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	-	ド透訓	救へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
47,587	12,228	第2種該当	10:1	

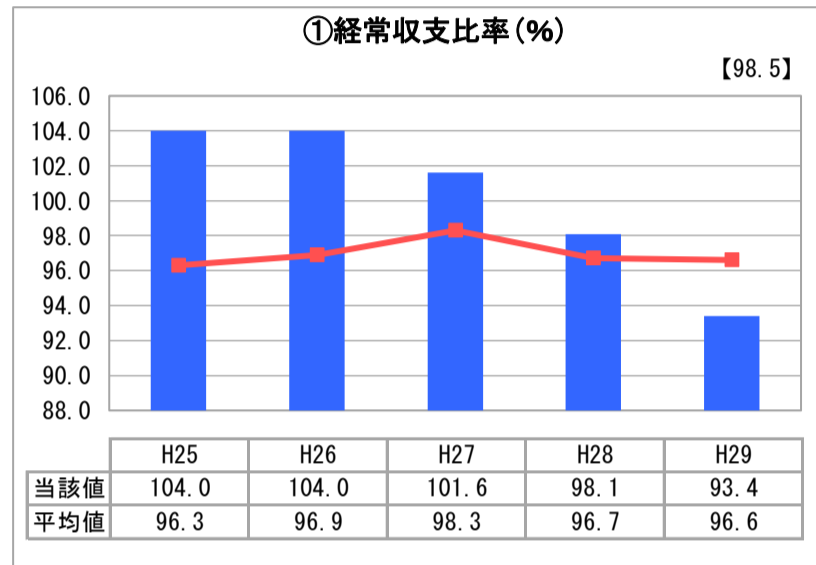
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

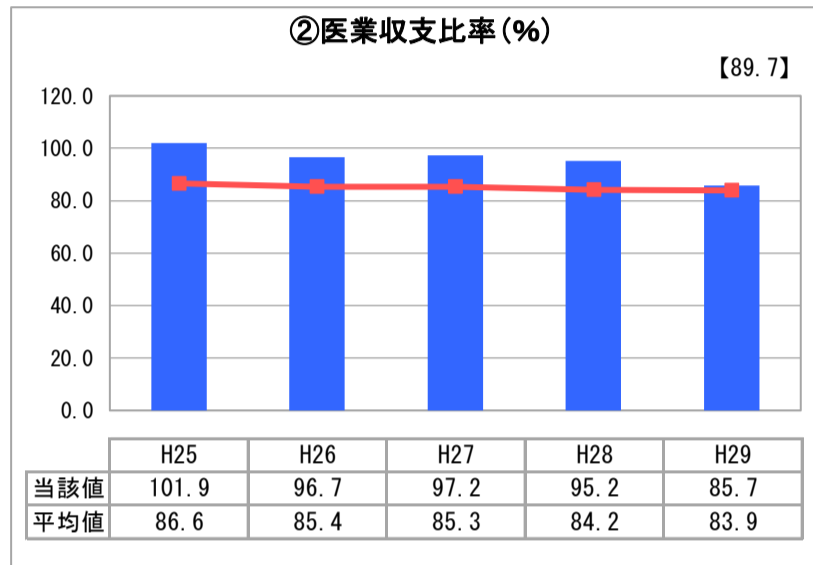
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
54	54	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	108
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
54	54	108

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	平成29年度全国平均

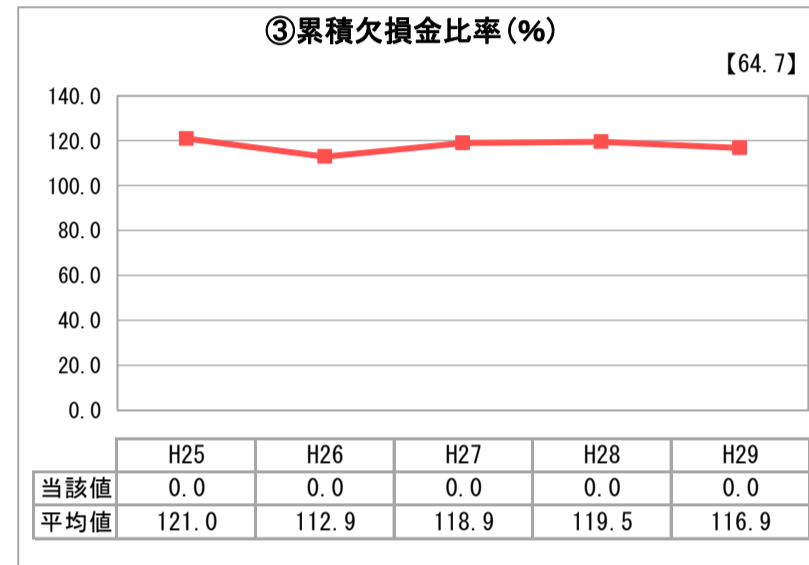
1. 経営の健全性・効率性



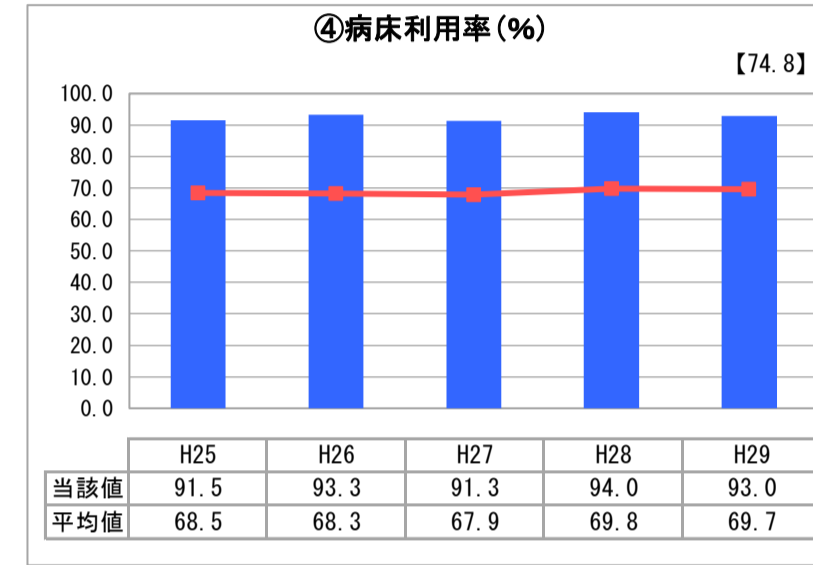
「経常損益」



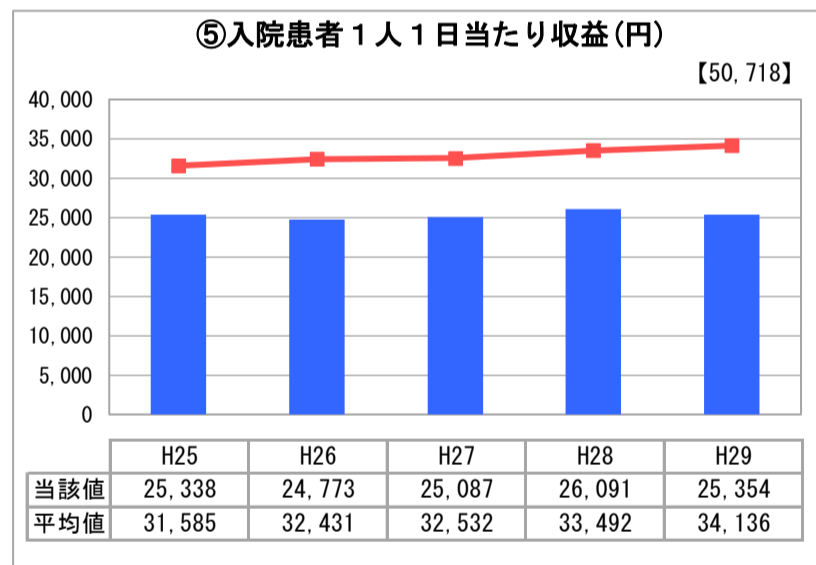
「医業損益」



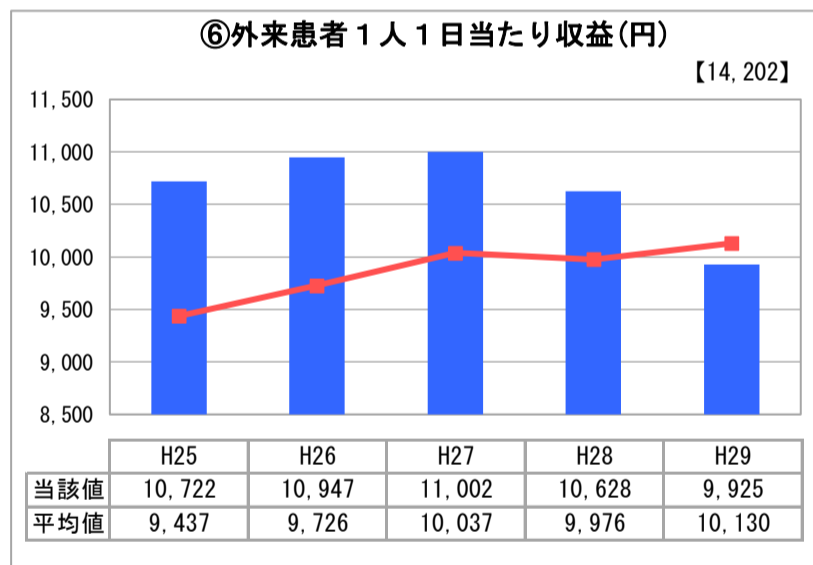
「累積欠損」



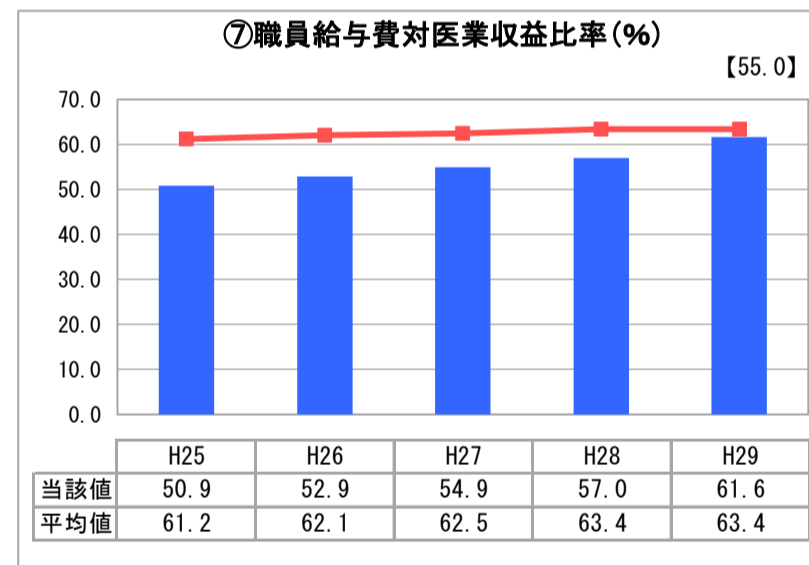
「施設の効率性」



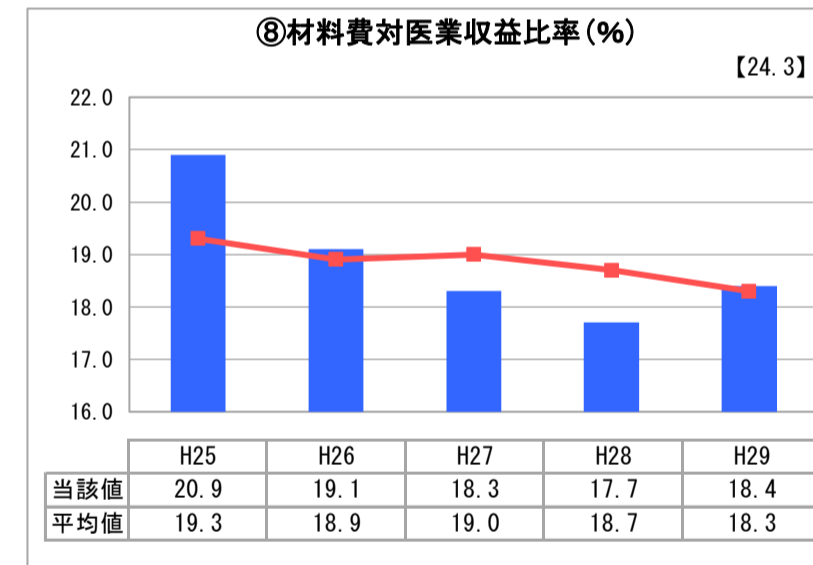
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

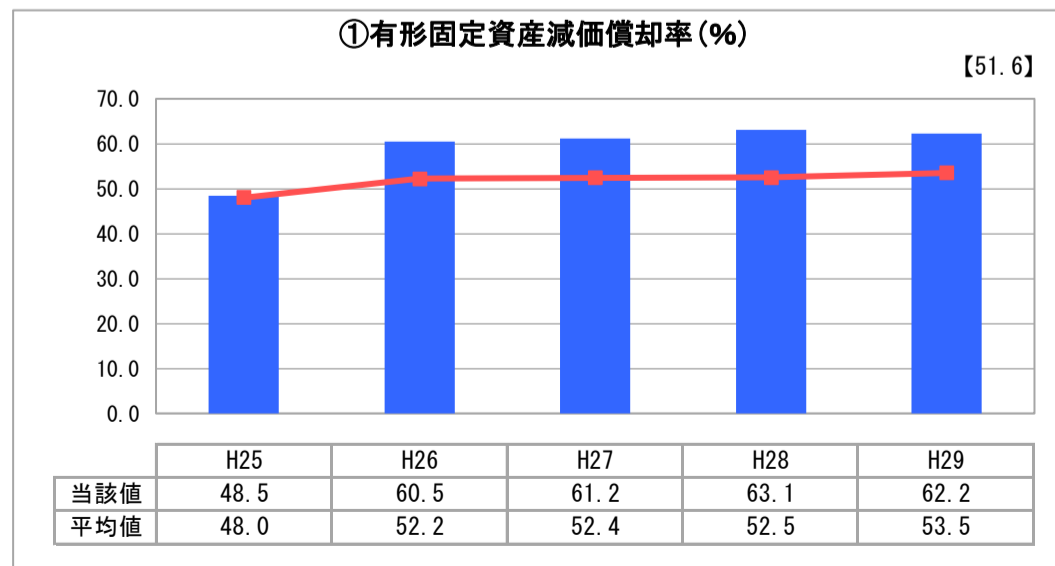


「費用の効率性①」

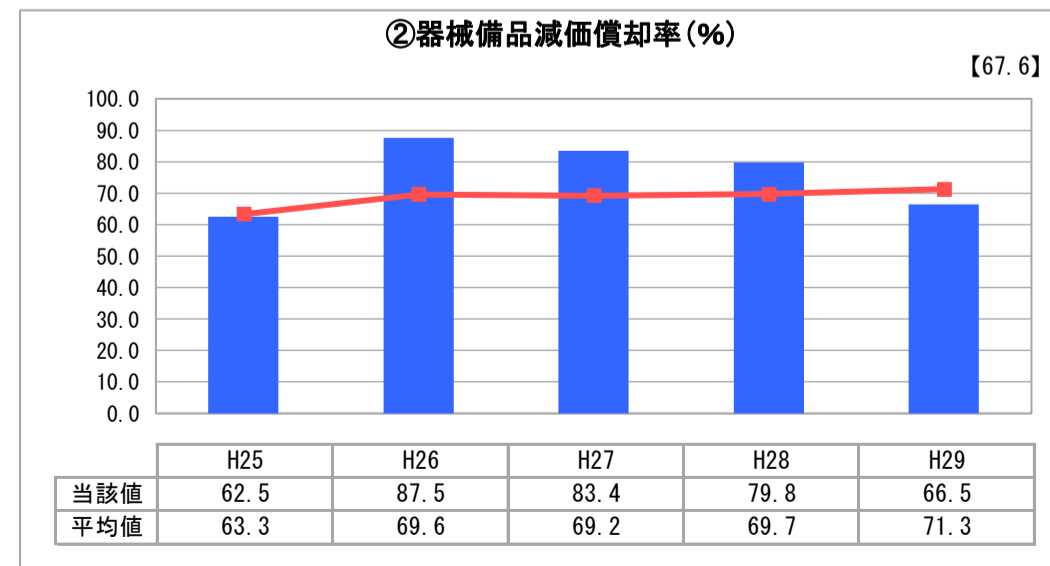


「費用の効率性②」

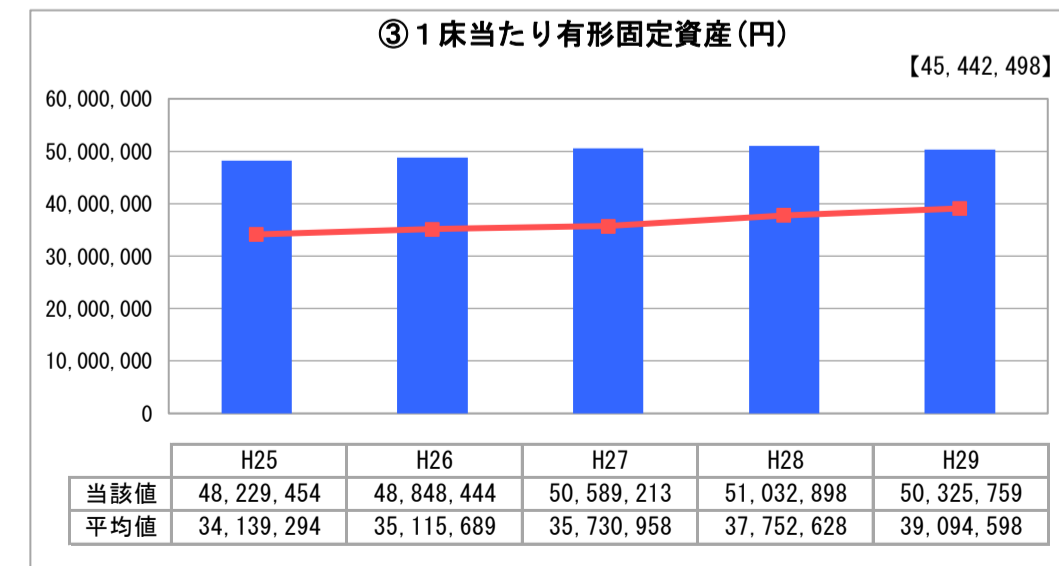
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当院は、救急告示病院として、地域の急性期医療の一端を担い、また、療養病床を有し、併設老健・訪問看護ステーションと協働し、慢性期医療及び在宅復帰支援を行っている。へき地拠点病院の指定も受けており、急性期から慢性期、在宅復帰支援、へき地への医療提供と、ケアミックスの病院として、幅広い役割を地域において担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当院の経常収支比率は、特別損失を計上したことと、電子カルテや医療機器の入替に伴い減価償却費と資産減耗費が増大したことにより、100%を下回った。しかし、病床稼働率が90%を超えたことにより、医業収支比率においては、類似病院平均値を上回っている。そのため、キャッシュフローは良好であり、健全な経営を続けている。職員給与費・材料費の対医業収益比率は、医業収益の堅調さが反映され、平均値とほぼ同値であると分析する。一般病棟と療養病棟を同病床数設置しているため、入院単価は平均を下回っているが、一般病棟単独と比較すると同等の単価となっており、効率的な運営を行っていると考えられる。

2. 老朽化の状況について

当院は、平成16年度に新館建設・本館改修事業を行っており、構築物については、当面の間、建設及び改修の予定はない。設備・医療機器等については、新館建設時に設置・購入した物が多く、10数年を経過し、初回又は2回目の更新の時期を重複して迎えている。現在、経営状況が堅調なことから、減価償却費及び資産減耗費が経常収支比率に及ぼす影響と、キャッシュフローの状況を総合的に判断し、健全な経営が維持できるよう、計画的に更新を行っている。

全体総括

当院は、各種指標が類似病院と比較しても良好であり、キャッシュフローも堅調に推移しており、現状では健全な経営を行っていると考えられる。今後、設備及び医療機器の更新を迎えるに当たり経費が増大し、経常収支比率が一時的に悪化する事はやむをえない状況であるが、設備投資について総合的に判断し、健全な経営を維持していく。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。